

ツキノワグマによる人身事故防止のために

秋から初冬にかけては、冬眠前のツキノワグマが食料を求めて人家や納屋、果樹などにやって来る可能性が高くなります。

クマを集落や農地に寄せ付けないよう、また、不意にクマに遭遇しないよう、特に次の点に注意しましょう。

！クマを近づけないためのポイント！



1 ゴミを屋外に置かないようにしましょう

ゴミ(特に生ゴミ入りのもの)はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置もしないようにしましょう。

2 食料は、クマに気づかれないところに収納しましょう

匂いに敏感なクマが、屋外や納屋などにある食料に気づけば食べにくる恐れがあります。クマが気づかないよう、果物、穀物、ペットフードなどは厳重に保管してください(納屋・倉庫などの戸締りもしっかりとしましょう)。

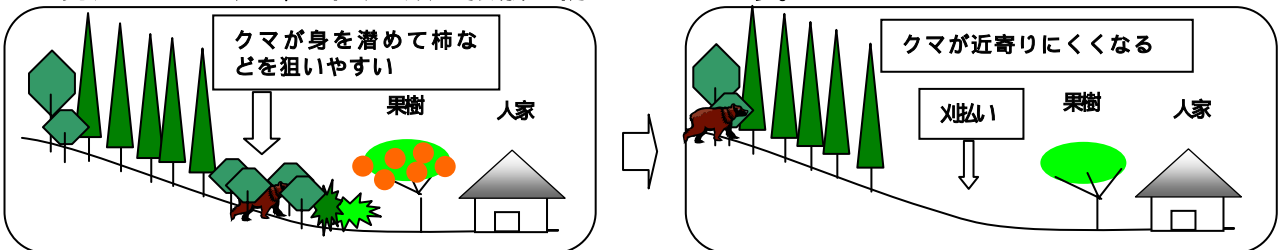
3 果実は早めに収穫しましょう

クマの好物である柿や栗は早めにもぎ取って処分しましょう。販売用などで必要な場合は、木の根元にトタンを巻くか、電気柵で周囲を囲むようにしましょう。



4 できるだけヤブや草むらを刈り取りましょう

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、できる限り刈り取って見通しをよくし、出会い頭の接触を防止しましょう。



森林や、その付近に行くときは音の出るものを携行しましょう



森林や、その付近に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。



特に雨の日や川沿いの場所では、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいため、大きな音を出して人間の存在を知らせましょう。

人里でも夕方から朝までの外出は特に注意しましょう

クマは夕方から早朝の間に人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、絶対に柿の木や栗の木の近くなどクマがいそうな所に近づかないでください。

クマを目撃した場合は、最寄りの市役所、町役場に報告をお願いします。